

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-046736

(43)Date of publication of application : 12.02.2002

(51)Int.Cl.

B65D 6/18
B65D 21/02

(21)Application number : 2000-236474

(71)Applicant : SANKO CO LTD

(22)Date of filing : 04.08.2000

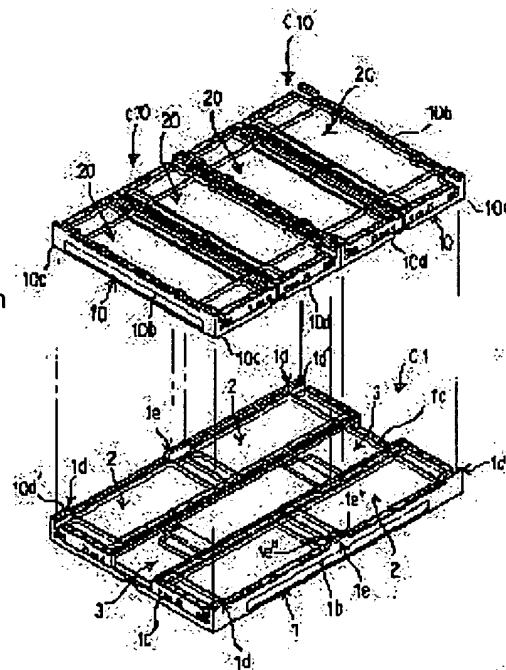
(72)Inventor : MORI HITOSHI
YAMAUCHI HISATOSHI

(54) FOLDING CONTAINER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent a small folding container, which is mounted on a folding container, from being removed from the longer side wall of the folding container and tilting, or from dropping in the folding container, and stack the small folding container on the top of the folding container under a stable state.

SOLUTION: For this folding container, side walls 2 and 3, which are arranged in a manner to surround a bottom section 1, can be folded to be superposed on the bottom section. In such a folding container, at both end sections of a bottom section longer side wall 1b, an end section engaging block 1d having a notched step section 1d' is arranged. At the same time, at a specified location of the bottom section longer side wall, an intermediate block 1e, on which a fitting protrusion 1e'' is provided, is formed. In this case, the fitting protrusion 1e'' is fitted in a recess 10e formed on the bottom section 10 of the small folding container C10, which is stacked on the folding container under a folded state.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

01.03.2006

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application
converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of extinction of right]

BEST AVAILABLE COPY

(19) 【発行国】 日本国特許庁 (J P)

(12) 【公報種別】 公開特許公報 (A)

(11) 【公開番号】 特開 2 0 0 2 - 4 6 7 3 6 (P 2 0 0 2 - 4 6 7 3 6 A)

(43) 【公開日】 平成 1 4 年 2 月 1 2 日 (2 0 0 2 . 2 . 1 2)

(54) 【発明の名称】 折り畳みコンテナー

(51) 【国際特許分類第 7 版】

B65D 6/18

21/02

【 F I 】

B65D 6/18

A

21/02

A

【審査請求】 未請求

【請求項の数】 1

【出願形態】 O L

【全頁数】 7

(21) 【出願番号】 特願 2 0 0 0 - 2 3 6 4 7 4 (P 2 0 0 0 - 2 3 6 4 7 4)

(22) 【出願日】 平成 1 2 年 8 月 4 日 (2 0 0 0 . 8 . 4)

(71) 【出願人】

【識別番号】 5 9 1 0 0 6 9 4 4

【氏名又は名称】 三甲株式会社

【住所又は居所】 岐阜県本巣郡穂積町大字本田 4 7 4 番地の 1

(72) 【発明者】

【氏名】 毛利 均

【住所又は居所】 岐阜県本巣郡穂積町大字本田 4 7 4 番地の 1 三甲株式会社内

(72) 【発明者】

【氏名】 山内 寿敏

【住所又は居所】 岐阜県本巣郡穂積町大字本田 4 7 4 番地の 1 三甲株式会社内

(74) 【代理人】

【識別番号】 1 0 0 0 9 9 5 4 2

【弁理士】

【氏名又は名称】 平井 保

【テーマコード (参考) 】

3E006

3E061

【 F ターム (参考) 】

3E006 AA01 BA01 CA01 DA03 DB04

3E061 AA05 AB09 CA02

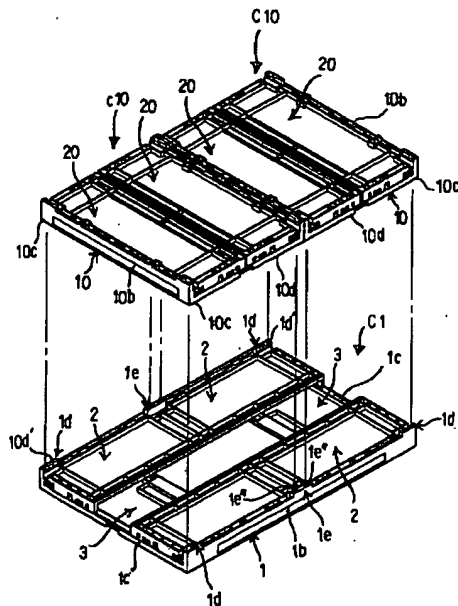
要約

(57) 【要約】

【解決手段】 底部 1 を囲むように配設された側壁 2、3 が、底部に重なるように折り畳むことができる折り畳みコンテナーにおいて、底部長側壁 1 b の両端部に、切り欠き段部 1 d' を有する端部係合ブロック 1 d を配設するとともに、底部長側壁の

所定の位置には、前記折り畳まれた状態の折り畳みコンテナに段積みされる小型折り畳みコンテナC10の底部10に形成された凹部10eに嵌合する嵌合凸部1e”が突設された中間ブロック1eが形成されているものである。

【効果】折り畳みコンテナに載置された小型折り畳みコンテナが、折り畳みコンテナの長側壁から外れて傾斜したり、折り畳みコンテナ内に落ち込んだりするようなことが防止でき、安定した状態で、折り畳みコンテナの上に、小型折り畳みコンテナを段積みすることができる。



請求の範囲

【特許請求の範囲】

【請求項 1】底部を囲むように配設された側壁が、底部に重なるように折り畳むことができる折り畳みコンテナにおいて、底部長側壁の両端部に、切り欠き段部を有する端部係合ブロックを配設するとともに、底部長側壁の所定の位置には、前記折り畳まれた状態の折り畳みコンテナに段積みされる小型折り畳みコンテナの底部に形成された凹部に嵌合する嵌合凸部が突設された中間ブロックが形成されていることを特徴とする折り畳みコンテナ。

詳細な説明

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】本発明は、底部を囲むように配設された側壁が、底部に重なるように折り畳むことができる折り畳みコンテナに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、図10(a)に示されているように、平面形状が略長方形に

形成された底部 1 の相対する長辺に、ヒンジ部を介して連結された長側壁 2 と、同じく、底部 1 の相対する短辺に、ヒンジ部を介して連結された短側壁 3 とからなる折り畳みコンテナ（以下、大型折り畳みコンテナという。）C 1 が知られており、また、図 1 0（b）に示されているように、上記の底部 1 より小さな、平面形状が略長方形に形成された底部 1 0 の相対する長辺に、ヒンジ部を介して連結された、上記の短側壁 3 と略同じ長さを有する長側壁 2 0 と、底部 1 0 の相対する短辺に、ヒンジ部を介して連結された、上記の長側壁 2 の長さの略半分の長さを有する短側壁 3 0 とからなる折り畳みコンテナ（以下、小型折り畳みコンテナという。）C 1 0 が知られている。

【0 0 0 3】大型折り畳みコンテナ C 1 及び小型折り畳みコンテナ C 1 0 は、共に、図 1 0（a）（b）に示されている箱型に組み立てられた状態から、短側壁 3、3 0 を内側に倒して、底部 1、1 0 の上に重ね、次いで、同じく、長側壁 2、2 0 を内側に倒して、底部 1、1 0 及び短側壁 3、3 0 の上に重ねることにより、図 1 2に示されているように、折り畳まれるように構成されている。

【0 0 0 4】組み立てられた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の長側壁 2 及び短側壁 3 の上端部の内側角部には、それぞれ、切り欠き段部 2 a、3 a が形成されており、同様に、組み立てられた状態の小型折り畳みコンテナ C 1 0 の長側壁 2 0 及び短側壁 3 0 の上端部の内側角部にも、それぞれ、切り欠き段部 2 0 a、3 0 a が形成されている。また、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部 1 の裏面には、段積みした際に、下に位置する組み立てられた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の長側壁 2 の切り欠き段部 2 a 及び短側壁 3 の切り欠き段部 3 a に嵌合される後述する嵌合部が、底部 1 の周壁 1 a の下端 1 a' を越えて下方に延在するように形成されている。同様に、小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の裏面にも、後述する嵌合部が、底部 1 0 の周壁 1 0 a の下端 1 0 a' を越えて下方に延在するように形成されている。

【0 0 0 5】大型折り畳みコンテナ C 1 の底部 1 の長辺側の側壁（以下、底部長側壁という。）1 b の高さは、短辺側の側壁（以下、底部短側壁という。）1 c の高さより高く形成されており、また、底部長側壁 1 b の両端部には、内側に向いた切り欠き段部 1 d' を有する端部係合ブロック 1 d が形成されている。切り欠き段部 1 d' を有する端部係合ブロック 1 d の上面 1 d'' は、底部長側壁 1 b に沿った部分と、この底部長側壁 1 b に垂直で、底部短側壁 1 c に沿った部分とからなる、平面形状が略 L 字状に形成されている。

【0 0 0 6】図 1 2に示されているような折り畳んだ状態の大型折り畳みコンテナ C 1 同士を段積みする際には、下に位置する折り畳んだ状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の底部 1 に形成された端部係合ブロック 1 d の切り欠き段部 1 d' に、上に位置する折り畳んだ状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の底部 1 の裏面に形成された嵌合部が嵌合され載置されるように構成されている。

【0 0 0 7】また、従来より、図 1 2に示されているように、下に位置する折り畳んだ状態の大型折り畳みコンテナ C 1 に、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナ C 1 0 を載置し、段積みすることが行われている。

【0 0 0 8】

【発明が解決しようとする課題】一例として、図 1 2に示されているように、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の上に、2 個の折り畳まれた状態の小

型折り畳みコンテナーC 1 0を段積みした際には、小型折り畳みコンテナーC 1 0の底部1 0の裏面に形成され嵌合部の長辺1 0 bを挟んで位置する角部付近が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の底部1に形成された4つの端部係合ブロック1 dのうち、底部短側壁1 cを挟んで位置する2つの端部係合ブロック1 dの切り欠き段部1 d'に嵌合されるとともに、小型折り畳みコンテナーC 1 0の底部1 0の長辺1 0 b側の両端部に位置する角部1 0 c付近が、上記の端部係合ブロック1 dの上面1 d"に載置されることになる。しかしながら、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の底部1に形成された端部係合ブロック1 dに嵌合、載置されなかった小型折り畳みコンテナーC 1 0の底部1 0の角部1 0 cは、端部係合ブロック1 dの上面1 d"より下方に位置する、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の底部長側壁1 bに載置されることになり、従って、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の中央部に向かって傾斜した状態で段積みされることになり、安定した状態で、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の上に、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0を段積みすることができないという問題があった。

【0009】また、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0は、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1に対して、水平方向に移動しやすいので、端部係合ブロック1 dに嵌合、載置されている折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0の底部1 0が、端部係合ブロック1 dから外れて、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の底部1や長側壁2に載置され、長側壁2が、段積みされ小型折り畳みコンテナーC 1 0の重さにより、損傷されるという問題があった。

【0010】本発明の目的は、上述した従来の折り畳みコンテナーが有する課題を解決することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明は、上述した目的を達成するために、底部を囲むように配設された側壁が、底部に重なるように折り畳むことができる折り畳みコンテナーにおいて、底部長側壁の両端部に、切り欠き段部を有する端部係合ブロックを配設するとともに、底部長側壁の所定の位置には、前記折り畳まれた状態の折り畳みコンテナーに段積みされる小型折り畳みコンテナーの底部に形成された凹部に嵌合する嵌合凸部が突設された中間ブロックが形成されているものである。

【0012】

【実施例】以下に、本発明の実施例について説明するが、本発明の趣旨を越えない限り何ら、本実施例に限定されるものでない。なお、上述した従来の大型折り畳みコンテナー及び小型折り畳みコンテナーと同じ構成部材については、同じ符号が使用されており、また、その詳細な説明は省略する。

【0013】本実施例の大型折り畳みコンテナーC 1も、同様に、平面形状が略長方形に形成された底部1の相対する長辺に、ヒンジ部を介して連結された長側壁2と、同じく、底部1の相対する短辺に、ヒンジ部を介して連結された短側壁3とから形成されている。また、上述した大型折り畳みコンテナーC 1と同様に、底部長側壁1 bの高さは、底部短側壁1 cの高さより高く形成されており、また、底部長側壁1 bの両端部には、内側に向いた切り欠き段部1 d'を有する端部係合ブロック

1 d が形成されている。

【0014】本実施例においては、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部長側壁 1 b の中央部の上面に、中間ブロック 1 e が形成されており、中間ブロック 1 e の上面 1 e' は、上述した端部係合ブロック 1 d の上面 1 d' と同じ高さを有している。また、中間ブロック 1 e の上面 1 e' には、所定の間隔をおいて、一对の嵌合凸部 1 e'' が突設されている。なお、長側壁 2 には、図 1、図 2 R>2 等 に示されているように、長側壁 2 を、底部 1 に対して垂直に立てた場合に、長側壁 2 の下端部が、中間ブロック 1 e に当接しないように、長側壁 2 の下端部の中央部に、凹部 2' が形成されている。

【0015】大型折り畳みコンテナ C 1 の裏面斜視図である 図 4 に示されているように、底部 1 には、底部長側壁 1 b に沿って、下方が開放された凹溝 1 f が形成されており、凹溝 1 f には、所定の間隔で、底部長側壁 1 b に垂直な隔壁リブ 1 g が形成されている。底部長側壁 1 b の中央部に位置する一对の隣接する隔壁リブ 1 g' により、凹溝 1 f の中央部には、嵌合凹部 1 h が形成されている。1 i は、大型折り畳みコンテナ C 1 同士を段積みした際に、下に位置する組み立てられた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の長側壁 2 の切り欠き段部 2 a 及び短側壁 3 の切り欠き段部 3 a に嵌合される底部 1 の裏面に形成された、上述した嵌合部であり、底部 1 の周壁 1 a の下端 1 a' を越えて下方に延在するように構成されている。なお、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部 1 に形成された嵌合部 1 i の短辺 1 i' に平行な中央領域には、小型折り畳みコンテナ C 10 の長側壁 20 が当接するように配置された 2 個の小型折り畳みコンテナ C 10 の上に、大型折り畳みコンテナ C 1 を段積みした際に、当接した 2 個の小型折り畳みコンテナ C 10 の長側壁 20 の上端部が挿入される凹溝 1 j が形成されている。なお、嵌合部 1 i の裏面には、必要に応じて、交叉リブ 1 k が形成されている。

【0016】小型折り畳みコンテナ C 10 の裏面斜視図である 図 11 に示されているように、小型折り畳みコンテナ C 10 の底部 10 の短辺 10 d を挟んで位置する両端部付近には、凹部 10 e が形成されている。10 f は、小型折り畳みコンテナ C 10 同士を段積みした際に、下に位置する組み立てられた状態の小型折り畳みコンテナ C 10 の長側壁 20 の切り欠き段部 20 a 及び短側壁 30 の切り欠き段部 30 a に嵌合される、上述した嵌合部であり、底部 10 の周壁 10 a の下端 10 a' を越えて下方に延在するように構成されている。なお、嵌合部 10 f の裏面には、必要に応じて、交叉リブ 10 g が形成されている。

【0017】図 5 に示されているように、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 に、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナ C 10 を段積みする際には、上述した従来の小型折り畳みコンテナ C 10 と同様に、小型折り畳みコンテナ C 10 の底部 10 の裏面に形成された嵌合部 10 f を、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の底部短側壁 1 c を挟んで位置する 2 つの端部係合ブロック 1 d の切り欠き段部 1 d' に嵌合するとともに、小型折り畳みコンテナ C 10 の一方の長辺 10 b 側の両端部に位置する角部 10 c 付近を、上記の端部係合ブロック 1 d の上面 1 d'' に載置する。また、小型折り畳みコンテナ C 10 の底部 10 の短辺 10 d を挟んで位置する両端部付近に形成された凹部 10 e のうち、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の中央部寄りに位置する凹部 10 e には、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部長側壁 1 b の中央部の上面に形成された中間ブ

ロック 1 e の上面 1 e' に突設された一対の嵌合凸部 1 e'' のうち、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部短側壁 1 c 側に位置する嵌合凸部 1 e'' が嵌合されるとともに、上記の嵌合凸部 1 e'' が嵌合された凹部 1 0 e 付近に位置する小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の角部 1 0 c 付近を、上記の中間ブロック 1 e の上面 1 e' に載置するように構成されている。

【0018】折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 に段積みされた、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナ C 1 0 は、その底部 1 0 の裏面に形成された嵌合部 1 0 f が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の底部 1 に形成された端部係合ブロック 1 d の切り欠き段部 1 d' に嵌合するように構成されているので、小型折り畳みコンテナ C 1 0 が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の底部短側壁 1 c に沿う方向に移動しようとしても、小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の嵌合部 1 0 f が、端部係合ブロック 1 d の底部長側壁 1 b に沿った部分に当接し、その移動が阻止されることになる。また、小型折り畳みコンテナ C 1 0 が、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部長側壁 1 b に沿う方向に移動しようとしても、小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の裏面に形成された嵌合部 1 0 f が、端部係合ブロック 1 d の底部長側壁 1 b に垂直で、底部短側壁 1 c に沿った部分に当接するとともに、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナ C 1 0 の大型折り畳みコンテナ C 1 の中央部寄りに位置する凹部 1 0 e には、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部長側壁 1 b の中央部に形成された中間ブロック 1 e の上面 1 e' に突設された一対の嵌合凸部 1 e'' のうち、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部短側壁 1 c 側に位置する嵌合凸部 1 e'' が嵌合されているので、その移動が阻止されることになる。

【0019】上述したように、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 に、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナ C 1 0 を段積みする際に、小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の嵌合部 1 0 f を、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の底部短側壁 1 c を挟んで位置する 2 つの端部係合ブロック 1 d の切り欠き段部 1 d' に嵌合するとともに、小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の長辺 1 0 b を挟んで両端部に位置する角部 1 0 c 付近を、上記の端部係合ブロック 1 d の上面 1 d' に載置し、且つ、小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の短辺 1 0 d の両端部付近に形成された 2 個の凹部 1 0 e のうち、大型折り畳みコンテナ C 1 の中央部寄りに位置する凹部 1 0 e には、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部長側壁 1 b の中央部に形成された中間ブロック 1 e の嵌合凸部 1 e'' が嵌合するとともに、上記の中間ブロック 1 e の嵌合凸部 1 e'' が嵌合された凹部 1 0 e 側に位置する角部 1 0 c 付近を、端部係合ブロック 1 d と同じ高さの中間ブロック 1 e の上面 1 e' に載置するように構成したので、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナ C 1 0 が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の中央部に向かって傾斜した状態で段積みされるようなことがなく、水平に段積みされるので、安定した状態で、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の上に、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナ C 1 0 を段積みすることができる。

【0020】また、小型折り畳みコンテナ C 1 0 の底部 1 0 の短辺 1 0 d の両端部付近に形成された凹部 1 0 e のうち、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナ C 1 の中央部寄りに位置する凹部 1 0 e には、大型折り畳みコンテナ C 1 の底部長側壁 1 b の中央部に形成された中間ブロック 1 e の嵌合凸部 1 e'' が嵌合してい

るので、折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1に対して、水平方向に移動するようなことがない。

【0021】図8及び図9に示されている実施例は、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1に、3個の折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0を段積みした例であり、この場合には、大型折り畳みコンテナーC 1の底部長側壁1 bを三等分し、三等分された領域の境界部分に、上述した上面1 e'に一对の嵌合凸部1 e"が突設された中間ブロック1 eが形成されることになる。そして、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の両端部に段積みされる小型折り畳みコンテナーC 1 0'は、上述した、2個の折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0が、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1に段積みされた場合と同じであり、また、折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1の中央部に段積みされた小型折り畳みコンテナーC 1 0"は、小型折り畳みコンテナーC 1 0の底部1 0の短辺1 0 d側に位置する裏面の両端部付近に形成された2個の凹部1 0 eが、大型折り畳みコンテナーC 1の底部長側壁1 bの三等分された領域の境界部分に位置する中間ブロック1 eの上面1 e'に突設された嵌合凸部1 e"に、それぞれ、嵌合されることになる。

【0022】折り畳まれた状態の大型折り畳みコンテナーC 1に、4個以上の折り畳まれた状態の小型折り畳みコンテナーC 1 0を段積みすることもでき、その場合にも、同様に、大型折り畳みコンテナーC 1の底部長側壁1 bの所定数に等分された領域の境界部分に、上面1 e'に一对の嵌合凸部1 e"が突設された中間ブロック1 eを形成する。

【0023】

【発明の効果】本発明は、以上説明した構成を有しているので、以下に記載する効果を奏するものである。

【0024】折り畳みコンテナーに載置された小型折り畳みコンテナーが、折り畳みコンテナーの長側壁から外れて傾斜したり、折り畳みコンテナー内に落ち込んだりするようなことが防止でき、安定した状態で、折り畳みコンテナーの上に、小型折り畳みコンテナーを段積みすることができる。

図の説明

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は本発明の折り畳みコンテナーの斜視図である。

【図2】図2は本発明の折り畳みコンテナーの組み立て途中の斜視図である。

【図3】図3は本発明の折り畳みコンテナーの折り畳まれた状態の斜視図である。

【図4】図4は本発明の折り畳みコンテナーの裏面斜視図である。

【図5】図5は本発明の折り畳まれた状態の折り畳みコンテナーと折り畳まれた状態の2つの小型折り畳みコンテナーとの段積みをするための斜視図である。

【図6】図6は本発明の折り畳まれた状態の折り畳みコンテナーと折り畳まれた状態の2つの小型折り畳みコンテナーとの部分拡大斜視図である。

【図7】図7は本発明の折り畳まれた状態の折り畳みコンテナーと折り畳まれた状態の2つの小型折り畳みコンテナーとが段積みされた状態の斜視図である。

【図8】図8は本発明の折り畳まれた状態の折り畳みコンテナーと折り畳まれた状

態の3つの小型折り畳みコンテナとが段積みされた状態の斜視図である。

【図9】図9は図8の正面図である。

【図10】図10は従来の折り畳みコンテナと小型折り畳みコンテナの斜視図である。

5 【図11】図11は従来の小型折り畳みコンテナの裏面斜視図である。

【図12】図12は従来の折り畳まれた状態の折り畳みコンテナと折り畳まれた状態の2つの小型折り畳みコンテナとの段積みを説明するための斜視図である。

【符号の説明】

C1 折り畳みコンテナ

10 C10 小型折り畳みコンテナ

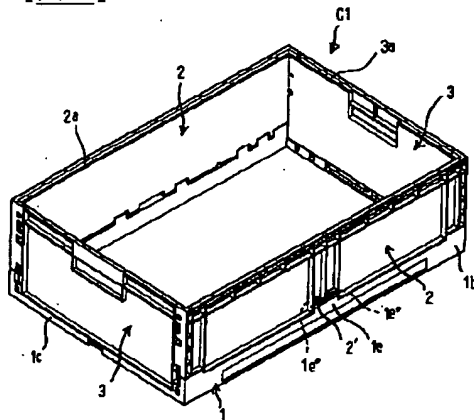
1 底部

1e 中間ブロック

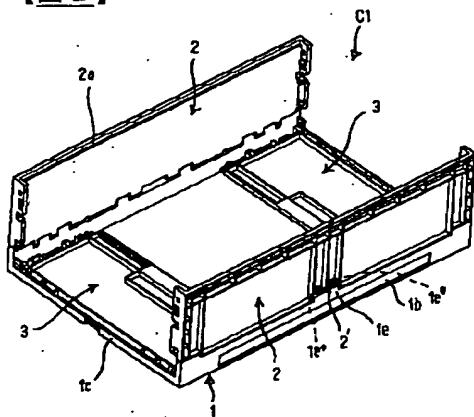
1e'' 嵌合凸部

15 図面

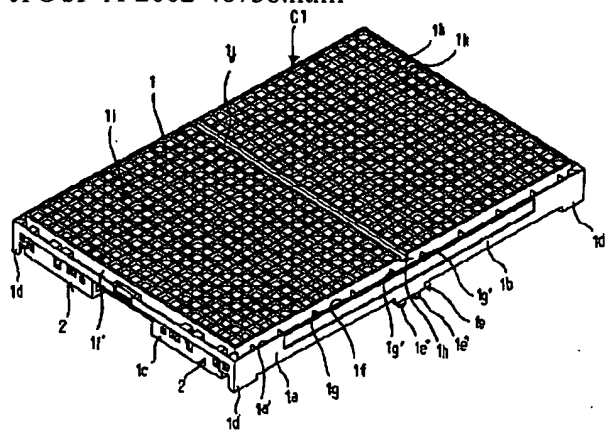
【図1】



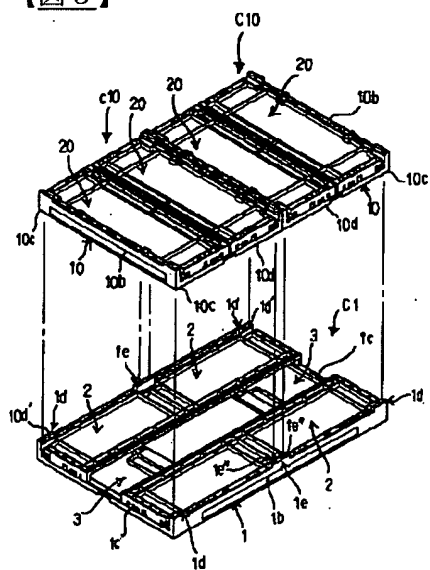
20 【図2】



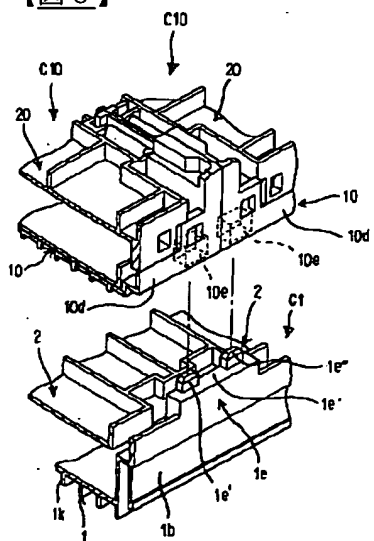
【図9】



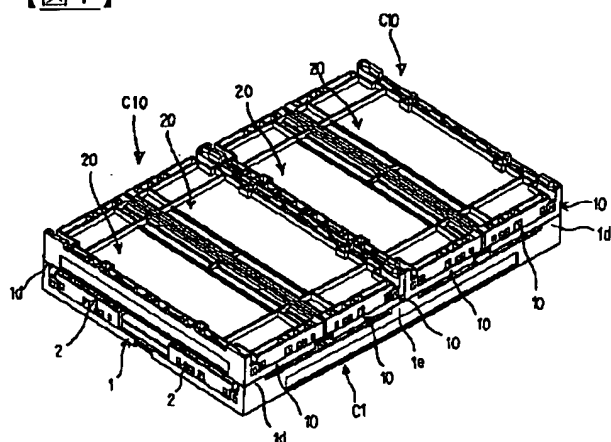
【図 5】



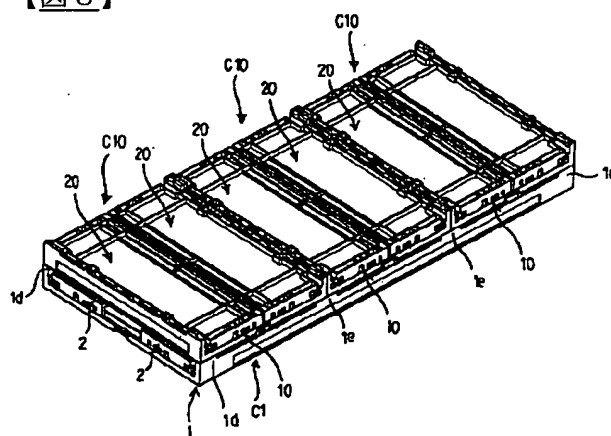
【図 6】



【図 7】

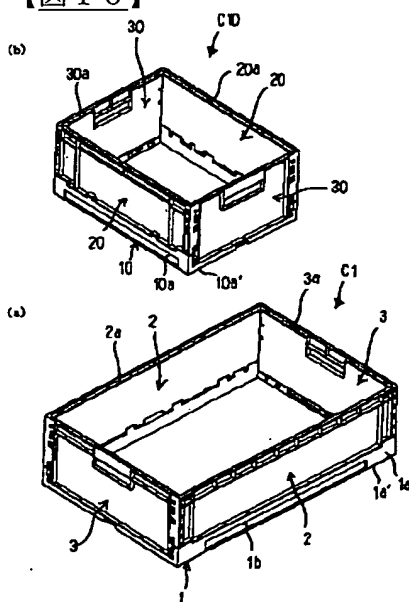


【図 8】



5

【図 10】



【図 1 2】

